

# 第3期 定時株主総会

UACJ

# 報告事項

# 第3期 事業報告

平成27年 4月 1日から  
平成28年 3月31日まで

# **1. 企業集団の現況に関する事項**

## **(1) 事業の経過及びその成果**

# (1) 事業の経過及びその成果

## 世界の経済情勢

- 米国や欧州においては緩やかな景気回復が持続
- 新興国においては中国やアセアン諸国等の経済成長の鈍化が表面化
- 中国の景気減速が一段と鮮明になり、世界の株式・為替市場に大きく影響
- 中東をはじめとする地政学的リスクも依然存在

景気の先行き不透明感が高まる

# (1) 事業の経過及びその成果

## 日本の経済情勢

**資源安や第3四半期までの円安の背景はあったものの  
個人消費や企業の設備投資が伸び悩む**

## 当期の連結業績

科目	金額
売上高	5,757億35百万円
営業利益	152億12百万円
経常利益	120億10百万円

# 当期の連結業績

科目	金額
親会社株主に帰属する 当期純利益	51億 5百万円



# 当社単独の業績

科目	金額
売上高	2,832億77百万円
営業利益	115億59百万円
経常利益	151億91百万円

# 当社単独の業績

科目	金額
当期純利益	115億63百万円

## 期末配当

**1株につき3円**

**(中間配当3円と合わせて年間配当6円)**

# 企業集団のセグメント情報

アルミ圧延品事業

伸銅品事業

加工品・関連事業

# 企業集団のセグメント情報

## アルミ圧延品事業

国内

板・押出合わせた圧延品合計



微減 (2年連続で200万トンを突破)

缶材



増加

自動車材



増加

箔地・輸出



減少

# 企業集団のセグメント情報

## アルミ圧延品事業

国内

板・押出合わせた圧延品合計



微減 (2年連続で200万トンを突破)

板類総量



増加

押出類



減少

# 企業集団のセグメント情報

## アルミ圧延品事業

米国

缶材



前年並み

当社グループの売上数量は、板類に関しては、自動車分野の数量が前年に比べ増加

厚板もLNG船の需要が本格化したのが、IT関連需要等で伸び悩む

# 企業集団のセグメント情報

## アルミ圧延品事業

### 缶材

- タイ王国の板圧延工場が一貫生産を開始
- Tri-Arrows Aluminum Inc. の製造委託先における設備故障の影響もなくなる

前年比プラス



# 企業集団のセグメント情報

## アルミ圧延品事業

### 押出類

- オールアルミ熱交換器用の材料で空調用への採用が本格化し大きく伸長
- それ以外は業界傾向と同様全般的に需要が弱い

前年比マイナス

# 企業集団のセグメント情報

## アルミ圧延品事業

- 当期の急激な地金価格下落に伴う棚卸評価関係による悪化
- タイ王国における板圧延工場立ち上げコスト増加等

売上高

4,608億58百万円

営業利益

181億21百万円

# 企業集団のセグメント情報

## 伸銅品事業

- 家庭用エアコンの国内出荷台数は前期並
- 上半期の在庫増加の影響により生産台数は減少
- 業務用パッケージエアコンも商業関連等の需要は堅調
- 建築及び公共工事需要等の停滞により、全体の生産台数が低調に推移

当事業の主力である空調用銅管も影響

売上高	468億78百万円
営業利益	3億39百万円

# 企業集団のセグメント情報

## 加工品・関連事業

- 事業譲受等
- 需要伸び悩みによる受注減少の影響

売上高	1,670億81百万円
営業利益	37億47百万円

## **(2) 設備投資及び資金調達の状況**

## (2) 設備投資及び資金調達の状況

### 設備投資

#### タイ王国

#### 板圧延工場建設

第二期分である鑄造工程からの一貫生産における投資に関しては、平成27年8月に完成し、稼働を開始

#### 米国

#### Tri-Arrows Aluminum Inc.によるLogan工場への投資

鑄造能力を含むアルミニウム板圧延能力を増強して北米での需要拡大への対応を図ることを目的に進行中

## (2) 設備投資及び資金調達の状況

### 設備投資

#### 国内

**国内製造拠点の品種集約化に伴う設備投資や  
必要な劣化更新投資等を実施**

## **(2) 設備投資及び資金調達の状況**

### **設備投資**

**当社グループ全体(工事ベース) 総額約305億円**

### **資金調達**

**所要資金は自己資金及び借入金等によって手当**



## **(3) 対処すべき課題**

# (3) 対処すべき課題

## 日本の経済情勢

- 金融緩和政策の継続
- 原油価格の下落によるエネルギー価格の低下等
- 一方、年初来の株安や商品市況の低迷

企業の景況感や消費者マインドは悪化  
今年4月の熊本地震発生もあり、  
景気の今後の見通しは不透明

# **(3) 対処すべき課題**

## **日本の経済情勢**

- **少子高齢化の進行**
- **顧客の生産拠点の海外移転等**

**需要構造の変化が進んでおり、  
中長期的に国内の事業環境は  
厳しいものと想定**

## **(3) 対処すべき課題**

### **世界の経済情勢**

- **中東情勢など地政学的リスクが依然存在**
- **中国の成長鈍化や資源市況の低迷による資源国の落ち込み**
- **一方、米国は回復基調**

**世界経済全体としても不透明感が継続**

# **(3) 対処すべき課題**

**「世界的な競争力を持つアルミニウムメジャーグループ」の実現へ**

**平成27年度から平成29年度**

## **UACJグループ中期経営計画 「Global Step I」**

**平成26年12月10日に発表**

**中期経営計画に掲げた内容を具体的に各事業へ展開し、  
環境変化に強い収益基盤の確立と持続的な成長に取り組む**

# (3) 対処すべき課題

## 重点方針

1

自動車を中心とした輸送分野、エネルギー分野などの成長製品の拡大とアジアを中心とした成長地域の事業強化

2

各事業の最適生産体制の構築及び技術融合の推進

3

先端基礎研究の強化と豊富な蓄積技術の活用による新技術・新製品の開発

### **(3) 対処すべき課題**

- **国内外の事業をより強固なものへ**
- **継続的な成長の実現**

**企業価値の更なる向上を図る**

### **(3) 対処すべき課題**

**CSRへの取り組みにより  
ステークホルダーの皆様から信頼される  
企業グループであり続けたい**

- **社会に役立つ安全な製品や技術、サービスを継続的に創出・提供し、お客様や取引先の信頼を獲得**
- **健全な企業活動を通じて、株主の皆様、従業員や地域社会などに貢献**



### (3) 対処すべき課題

## グローバルカンパニーとしての社会的責任

- 経営理念、行動規範の実践を通じた企業倫理の確立
- コンプライアンス及びリスク管理の徹底等

コーポレート・ガバナンスを実践

## **(3) 対処すべき課題**

### **グローバルカンパニーとしての社会的責任**

- **地球環境の保全**
- **資源再生利用の推進等**



**サステナビリティに取り組む**

**今後とも、良き企業市民として、  
持続可能な社会の構築に  
取り組んでまいります。  
株主の皆様におかれましては、  
今後ともなお一層の  
ご指導、ご鞭撻を賜わりますよう、  
よろしくお願い申し上げます。**

# 1.企業集団の現況に関する事項

- (4) 財産及び損益の状況の推移**
- (5) 重要な子会社の状況**
- (6) 主要な事業内容**
- (7) 主要な営業所及び工場**
- (8) 従業員の状況**
- (9) 主要な借入先**

**お手許の招集ご通知8ページから12ページに  
記載の通りでございます**

**2. 会社の株式に関する事項**

**3. 会社役員に関する事項**

**4. 会計監査人の状況**

**5. 会社の体制及び方針に関する事項**

**お手許の招集ご通知13ページから22ページに  
記載の通りでございます**

連 結 貸 借 对 照 表  
連 結 損 益 計 算 書  
連 結 株 主 資 本 等 變 動 計 算 書  
貸 借 对 照 表  
損 益 計 算 書  
株 主 資 本 等 變 動 計 算 書

# 連結貸借対照表

平成28年3月31日現在

# 連結貸借対照表(資産の部)

科目	金額
流動資産	2,634億 9百万円
固定資産	3,991億35百万円
資産合計	6,625億43百万円



## 連結貸借対照表(負債の部)

科目	金額
流動負債	2,497億84百万円
固定負債	2,341億77百万円
負債合計	4,839億61百万円

# 連結貸借対照表(純資産の部)

科目	金額
資本金	450億円
資本剰余金	730億41百万円
利益剰余金	361億 3百万円
自己株式	△2億14百万円
株 主 資 本 合 計	1,539億31百万円
その他の包括利益累計額	111億円
非 支 配 株 主 持 分	135億52百万円
<b>純資産合計</b>	<b>1,785億82百万円</b>

お手許の招集ご通知23ページをご参照ください

# 連結損益計算書

平成27年4月 1日から  
平成28年3月31日まで

# 連結損益計算書

科目	金額
売上高	5,757億35百万円
営業利益	152億12百万円
経常利益	120億10百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	51億 5百万円

お手許の招集ご通知24ページをご参照ください

# **連結株主資本等変動計算書**

**平成27年4月 1日から  
平成28年3月31日まで**

# 連結株主資本等変動計算書

科目	金額
平成27年4月1日純資産残高	1,871億36百万円
剰余金の配当	△25億67百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	51億 5百万円
自己株式の取得	△35百万円
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	△6億34百万円
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△104億24百万円
当期変動額合計	△85億54百万円
平成28年3月31日純資産残高	1,785億82百万円

お手許の招集ご通知25ページをご参照ください

# 連結注記表

**お手許の招集ご通知26ページから33ページに  
記載の通りでございます**

# 当社単独

貸借対照表

損益計算書

株主資本等変動計算書

個別注記表

お手許の招集ご通知34ページから41ページに  
記載の通りでございます



# 第3期 定時株主総会

UACJ